

【活用した資料】

- 小学校版「心あかるく」 p.8～p.9 第一章 「おかしいな」 与田 準一

【学習指導要領に示されている道徳の内容】

- 1－(1)「健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。」
- 3－(1)「生きることを喜び、生命を大切に作る心をもつ。」

○ 学年便りや保護者会での規則正しい生活（食事）の話題として

『心あかるく』p.8～p.9「おかしいな」に出てくる食べ物は、主に朝ごはんでは食べられるものです。

子供たちに、この「おかしいな」を使って、朝ごはんが一日を始める上で最も大切なエネルギー源となることや体の成長にとってとても大切なものであること、朝ごはんをきちんととるためには早寝早起きが重要であることなど、規則正しい生活の大切さを話しました。

子供たちにも朝ごはんの大切さについて指導しますが、規則正しい生活を送らせるためには、保護者の理解や協力が不可欠です。

そこで、この「おかしいな」を活用した指導について学年便りや保護者会で伝え、学校と家庭とで協力し合って基本的な生活習慣を身に付けさせていくきっかけとしました。

○ 教室やランチルームに掲示して

「おかしいな」の中には様々な食べ物が登場します。

そこで、栄養士さんと打ち合わせをして、詩に出てくる食べ物を低学年向けに絵や写真で紹介し、その栄養素や体の中での働きを指導してもらいました。

また、普段から教室やランチルームに掲示することで、食べることに興味をもたせるきっかけにすることもできました。

子供たちは、この「おかしいな」が大好きで、掲示してある前で声を出して楽しそうに読む姿も見られました。